

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市高砂デイサービスセンター
2	指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
3	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <p>平成30年度 4,465人（前年度比85.6%） 平成29年度 5,216人（前年度比96.7%） 平成28年度 5,392人（前年度比101.2%）</p> <p>《事業》花見等各種外出活動、クリスマス会等季節行事、幼稚園児来所等世代間交流事業、誕生会、変わり湯、地域交流、ポップサーカス出演者来所等社会交流、映画鑑賞、老人福祉センター趣味の教室の見学</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">（ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 ※利用料金制を採用しているため、指定管理料の支出はない ・ その他市が負担した費用 179千円 （ 0千円） <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 37,946千円 （42,925千円） ・ その他収入 14,000千円 （1,775千円）
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>苦情解決相談窓口の開設、地域委員会の開催、利用者・家族アンケートの実施、意見箱の設置、総合相談窓口の開設、家族交流会の実施</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>デイサービスセンターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。</p> <p>また、利用者の健康相談や公平・公正な利用、要介護者の心身の特性に配慮した対応に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。</p>	30/30
II 施設の運営管理体制	<p>必要数の職員が配置されており、各職員は他の職員の業務状況を把握している。経理処理も書類作成など適正に行われている。</p> <p>また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定めるとともに、職員への周知等により意識啓発を行い、個人情報保護に対する体制を整えている。</p> <p>事故や災害の発生に備えて、連絡体制や職員の役割分担を予め決めていくなど、対応体制を構築している。</p>	24/24
III 施設・設備の維持管理	<p>利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、建築物の保守点検や施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。</p> <p>また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。</p>	24/24
IV サービスの質の向上	<p>利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。</p> <p>また、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、利用者アンケートを年1回は行うなど、利用者の意見を反映した施設運営に努めている。また、最新の介護保険情報取得や介護の在り方等を学ぶために積極的に研修等に参加し、終了後は他の職員への伝達研修を実施し、情報を共有している。さらに、広報誌の発行などを通じ、利用者等への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。</p>	28/28
V 施設固有の基準	<p>介護技術向上のための定期的な研修実施や、職員間での情報交換など、サービスの質を向上させる取組を行っている。</p> <p>また、関係機関と定期的な会議を開催することにより、日常的な連携体制を構築し、関係機関からの情報収集と利用者への情報提供に努めている。</p>	8/8

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>デイサービスセンター（以下デイ）の運営にあたっては、高齢者福祉の向上を図るとともに、利用者や居宅介護支援事業所から選ばれる施設を目指し、安定したサービスを継続して提供できるよう努めた。</p> <p>利用者本位のサービス提供について、通所介護計画書に基づいて理学療法士を中心にサービスを提供することで、利用者の日常生活に対する意欲を高めるとともに、本人の目標や状態に合わせた心身の健康保持や、生活意欲の向上につなげることができた。</p> <p>地域包括ケアシステム構築への取組みについて、併設施設との連携と地域との連携を推進した。併設施設との連携としては、老人福祉センター（以下老福）と協働で事業運営に取り組んだ。具体には、①老福主催事業へのデイ利用者の参加、②デイ主催事業を老福利用団体の日頃の活動成果発表の場として活用した、③理学療法士を老福の介護予防事業に講師として派遣し、一般市民の健康増進に寄与した、④ボランティア体験受入施設のひとつとして、ボランティア講座受講者を受け入れたことが挙げられる。</p> <p>地域との連携については、近隣の高砂保育所やあけぼの幼稚園・岡田小学校との世代間交流、併設施設の老福や市民センター、児童館の利用団体・利用者を含めた芸能ボランティアの積極的受け入れによる慰問等、社協のもつネットワークや複合施設の強みを活かして様々な機関との交流を図り利用者・家族の満足度向上に努めるとともに、地域交流を推進した。さらに、日常の支援や各種行事の協力者としてボランティアを受け入れている他、実習希望や職場体験、教員免許取得の為の実習を積極的に受け入れ、デイの役割を多くの市民に幅広く伝え、地域に開かれた施設として認識して頂けるよう努力した。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成30年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>老人福祉センターとの共催事業や、ボランティア受け入れなど地域との交流や、幼稚園児の受け入れなど世代間交流に取り組んでおり、利用者、家族の満足度も高い。また、地域包括支援センターなどの関係機関との連携を図り、生活相談機能の拡充やワンストップ相談機能体制の構築に向けた努力もすすめており、成果の結実が期待される。</p> <p>また、利用者アンケートのほか、家族交流会の開催や、連絡帳を活用して家族と情報を共有するなど、利用者とその家族のニーズを把握し、利用者本位の質の高いサービスを提供しており、総合的に高く評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課